

令和元年度 町立久万美術館 事業報告

コレクション展



2019年1月19日(土)～5月12日(日)

久万美コレクション展Ⅱ  
「生誕100年記念 対比の美 田中坦三」

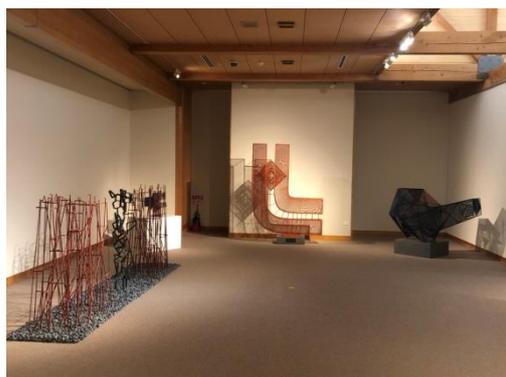
(1354人／99日開館)



2019年5月19日(日)～9月23日(月・祝)

久万美コレクション展Ⅰ  
「大用国師200年遠諱記念 誠拙周樗  
一禅のひょうきん者たち」

(1670人／111日開館)

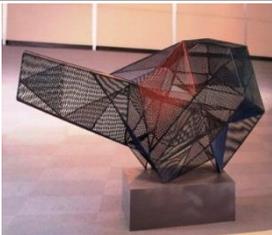


2020年1月25日(土)～5月10日(日)

久万美コレクション展Ⅱ  
「風の通る彫刻 森堯茂 点と線」

(379人／47日開館)

## 新収蔵作品リスト

画 像	作 品	品質・形状規格・寸法
	古茂田公雄 軍鶏 1951年	油彩／キャンバス 60.8×45.0 cm
	森堯茂 鳥No1 1953年	白セメント／大理石 57.0×28.0×25.0cm
	森堯茂 OPEN BOXNo2 1988年	鉄 121.0×170.0×65.0cm
	森堯茂 殻の発展 1956年	鉄 102.0×52.0×52.0cm
	森堯茂 風の棲むかたち 1999年	鉄 82.0×58.0×15.0cm

岡本鐵四郎 水彩スケッチ 4点

《松山城展望》1978年7月2日、《三津朝市》1976年5月26日、《神田川原》1982年10月30日、《シャルトル・FR》不明年4月4日（1968年か）

## 自主企画展



2019年10月5日（土）～12月8日（日）

町立久万美術館 2019年度自主企画展  
「空間に線を引く—彫刻とデッサン展」

(2341人/55日開館)

本展は彫刻家のデッサンに重きをおき、彫刻と対になるデッサンを展示。各作品には彫刻家の言葉を付記し、作品理解への一助とするとともに、画家のデッサンとの相違点、彫刻家のデッサンの特異性が明らかになりました。久万美術館は全国的に見ても珍しい木造の平屋建て。木のぬくもりある展示室と彫刻が織り成す展示空間は、木と作品の共鳴を感じ、居心地良く、他館にはない素晴らしいものに。本展は神奈川県・平塚市美術館、栃木県・足利市立美術館、愛知県・碧南市藤井達吉現代美術館、久万美術館の共同企画展で4館を巡回しました。

## 催事



2019年10月5日（土）

企画展ギャラリートーク  
「空間に線を引く—彫刻とデッサン展」

講師：江尻潔

(105人)



2019年11月10日（日）

企画展ギャラリートーク  
「出品作家によるギャラリートーク」  
講師：青木野枝 三沢厚彦 棚田康司

司会：土方明司 江尻潔

(86人)

## 座朱欒プロジェクト実行委員会



2019年12月15日（日）

第1回プロジェクションマッピングワークショップ

2020年1月11日（土）

第2回プロジェクションマッピングワークショップ

場所：愛媛新聞社



2020年2月29日（土）

プロジェクションマッピング発表会

※新型コロナウイルス感染症防止のため、

関係者のみ参加

場所：市民会館西側

久万高原町、町立久万美術館、松山市、愛媛新聞社が実行委員会を立ち上げ2017年度から取り組む「座朱欒（ザシュラン）プロジェクト」は3年目を迎えました。プロジェクトのコンセプトは、「集団としての青春」と「久万高原町と松山市の知的土壌のさらなる醸成」です。久万高原町と松山市の文化的資産の掘り起こしにとどまらず、現代社会の人間関係に意義深いメッセージを発する文化事業になると確信しています。

## 教育普及活動

### ● 展覧会にちなんだワークショップ

各展覧会の内容に合わせたワークショップを開催しました。展示作品の一部をワークショップの題材にすることで、より深く作品を楽しむことができました。



2019年4月27日(土)

アート万華鏡づくりワークショップ

(10人)



2019年7月20日(土)

墨のワークショップ

(9人)



2019年7月28日(日)

Let's アクション！みんなで作ろう  
コマ撮りアニメワークショップ

(21人)



2019年10月4日(金)

石積みワークショップ

(13人)

●地域に根差したワークショップ

地域団体からの要望を受け、物作りワークショップを行いました。



2019年7月12日(金)

中予地域婦人教育研修会・米バッグ制作

(140人)



2019年8月6日(火)

アート絵本読み聞かせ・だるま作りワークショップ

(児童館13人)

●学芸員解説

2019年4月7日(日)～11月30日(土) (68人/計8回)

各展覧会に合わせて、当館学芸員による作品解説や展示の見所を紹介、質疑応答などを行いました。

●職業体験の受け入れ

2019年11月26日(火)、28日(木) (久万中学生1人)

久万中学校で行われている職業体験「3出会いウィーク」の受け入れを行いました。実習形式で美術館の様々な業務に取り組んでももらいました。

●出前授業

2019年11月19日(火) (久万小学校6年生19人)

国語の授業の導入として、出前講座を行いました。鳥獣戯画のレプリカを用いて、絵巻の取り扱い方や鑑賞の仕方について授業を行いました。

●アート茶話

当館では、美術館と来館者による座談会として「アート夜話」を行ってきました。しかし来館者からの要望に応え、開催を昼間に変更し、「アート茶話」と名義を変え、抹茶とお菓子と文化の話を楽しむ会として活動を行いました。また、取り扱う内容を美術に限定せ

ず、幅広い文化の話になるよう、外部講師に依頼を行いました。



**アート茶話 1 席目 2019 年 4 月 21 日 (日)**

講 師：キム・チャンヒ (100 年俳句計画編集長)

テーマ：俳句について

(計 16 人参加)



**アート茶話 2 席目 2019 年 6 月 16 日 (日)**

講 師：塩出洽 (ギャラリーかわにし画廊主)

テーマ：ギャラリーかわにしの生い立ち

画廊経営の裏側と真贋問題

画家・安藤義茂と刀画

(計 43 人参加)



**アート茶話 3 席目 2019 年 8 月 18 日 (日)**

講 師：喜安嶺 (愛媛県スポーツ文化部)

テーマ：畦地梅太郎について

(計 29 人参加)



**アート茶話 4 席目 2019 年 10 月 20 日 (日)**

講 師：徳永高志 (NPO ココア理事長)

テーマ：アートフェスティバルは地域を壊す？

(計 11 人参加)



**アート茶話 5 席目 2019 年 12 月 1 日 (日)**

講 師：増田和朗

(松山ビジネスカレッジクリエイティブ校総合デザイン学科 教員)

テーマ：愛媛県立美術館、学芸員時代の思い出

(計 30 人参加)



**アート茶話 6 席目 2020 年 2 月 16 日 (日)**

講 師：中村裕範 (久万高原町地域おこし協力隊)

テーマ：中津の現状と取り組み

(計 20 人参加)

**総来館者数 4918 人 / 274 日開館**